

令和7年度埼玉県脳卒中相談窓口連携会議（2025.11.11）

令和7年度埼玉県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業

埼玉医科大学国際医療センター

1 全体目標

- ① 2040年までに3年以上の健康寿命の延伸
- ② 循環器病の年齢調整死亡率の減少

2 個別施策

- ① 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発
- ② 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実
 - a. 予防検診の普及・推進
 - b. 救急搬送体制の整備・医療提供体制の構築
 - c. リハビリテーション等への取組
 - d. 後遺症支援
 - e. 緩和ケア
 - f. 両立支援・就労支援
 - g. 小児期・若年期対策
 - h. 情報提供・相談支援
- ③ 循環器病の研究推進

1 活動目的

循環器病対策推進基本計画では、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を実施することとなっている。

この取り組みを効果的に推進するため、脳卒中・心臓病等総合支援センターを設置し、都道府県と連携し、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図る。

2 事業の概要

都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の事業を行う。

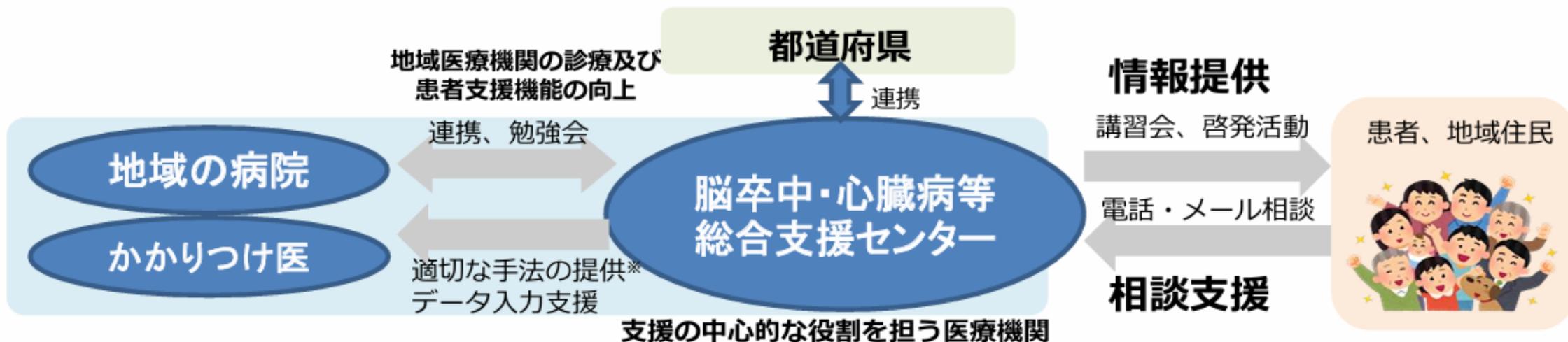
- ① 【相談窓口】循環器病患者・家族の相談窓口の設置
- ② 【普及啓発】地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ③ 【人材育成】 【地域連携】地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会の開催
- ④ 相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ⑤ その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

3 脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討

＜役割＞ 循環器病に関する**情報提供**及び**相談支援**の、地域における核となり中心的な役割を担う



4 埼玉県の状況

埼玉県では、救急体制の整備や県民への啓発活動のほか、様々な循環器病対策を行っている。

令和5年度に埼玉医科大学国際医療センターが「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」に採択され、県と埼玉医科大学国際医療センターの協働により、更なる循環器病対策を推進している。

郡市医師会、在宅医療連携拠点を対象とした説明会 ①

- 脳卒中・心臓病等総合支援センターの令和7年度計画案について、県医師会に説明を実施（総合支援センターの幅広い利用）。
- 医師会意見「在宅医療連携を推進するため、郡市医師会や在宅医療連携拠点の方へ総合支援センター事業の情報をしっかり伝えることが重要」
- 医師会との共催により郡市医師会、在宅医療連携拠点を対象とした説明会を実施。

主 催 埼玉県、埼玉県医師会、埼玉医科大学国際医療センター

日 時 2025年8月28日（木）18時から19時30分

参加対象 郡市医師会（地域連携担当）、在宅医療連携拠点コーディネーター、
県立病院機構

参加者数 33名（13郡市医師会、16在宅医療連携拠点、県立病院機構）

県からの説明（要約）

- 循環器病に関する法律が定められ、それに県計画を策定。
指標の1つに「在宅等生活の場に復帰した患者の割合」を定めている。
- 在宅部門の方は、対象者の生活環境を直接観察でき、兆候、変化、食生活、服薬など、様々な面から重症化予防のために関与できる事柄がある。
- これらのことをこれまで以上に着実に実現していくためには、在宅部門スタッフの専門知識の更なる向上や地域連携の一層の強化が重要。
- 循環器病対策においては、患者・患者家族、医療従事者を支援するため、国より脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業が実施され、埼玉医科大学国際医療センターが採択された。モデル期間後も事業が継続されている。
- 総合支援センターでできることを知っていただき、活用を検討いただきたい。

総合支援センターからの説明（要約）

- 総合支援センターとして行っている取組の具体説明。
（相談事業、普及啓発、人材育成・地域連携）
- 在宅医療連携拠点で研修会を開催する場合に、総合支援センターとして講師や助言者の派遣による協力が可能。
- 総合支援センターができる話、助言等については、総合支援センターが実施するセミナーで詳しく知ることができるため、ぜひ聞いていただきたい。
- 郡市医師会・在宅医療連携拠点へのお願い
 - ・ 総合支援センターで行われている相談事業の周知にご協力ください
 - ・ 研修会を開催する場合の講師や助言者の派遣について相談ください
 - ・ 総合支援センターの開催するセミナーを活用ください
 - ・ 総合支援センターの開催するセミナーの周知にご協力ください

令和7年度埼玉県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 計画

I. 医療機関連携・介護施設連携の事業展開（共通事項）

相談事業の周知（脳卒中相談窓口、心臓病相談窓口の活用）

II. 医療機関連携の事業展開

医療機関どうしの顔の見える連携、専門医の周知 を図ります。

脳卒中・心臓病等総合支援センターを

「地域の医療職のバックアップとしての専門的な相談窓口」としてご利用いただく。

III. 介護施設連携の事業展開

介護職は「変化に気づく専門家」「医療との橋渡し役」と考えます。

脳卒中・心臓病等総合支援センターを

「あなたの相談サポーター・・・迷った時の相談先の1つ」としてご利用いただく。

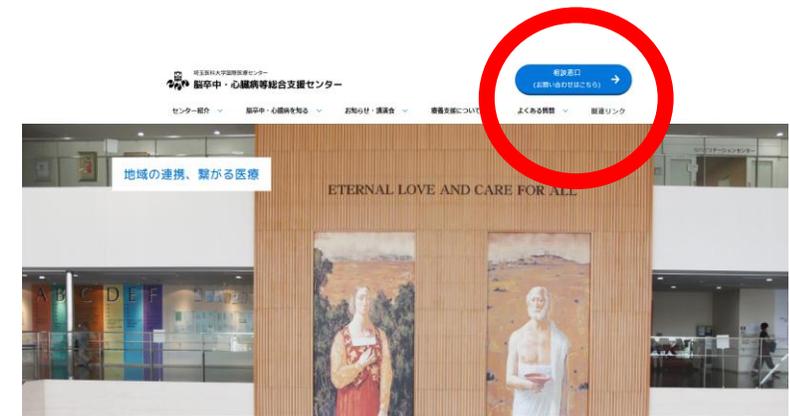
IV. その他の医療機関連携・介護施設連携の事業展開

I. 医療機関連携・介護施設連携の事業展開（共通事項）

相談事業の周知（脳卒中相談窓口、心臓病相談窓口の活用）

① 患者・家族、医療機関、介護施設等からの相談支援窓口【相談窓口】

- 国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族、医療機関、介護施設等からの相談に、より広く対応して参ります。
- 便利なWEB相談をお勧めしています



Googleフォームへ相談事項を記載し送信→登録したメールアドレスに回答を送信
※相談内容によって当院の医師や看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士などが回答します。



II. 医療機関連携の事業展開

医療機関どうしの顔の見える連携、専門医の周知 を図ります。

① 脳卒中・心臓病等総合支援センターが開催するセミナー等の活用【普及啓発】【人材育成】 ※一度ご受講いただき、どんな内容かをご確認ください

- 市民公開講座
- 県民向け公開講座【埼玉県と共催】
- 地域医療連携懇話会
- かわせみカンファレンス
- 脳卒中病院前救護セミナー（PSLS : Prehospital Stroke Life Support）、● ISLC
- 比企地域の地域医療連携勉強会【埼玉県と共催】

② 埼玉医科大学国際医療センターから、勉強会等への講師の派遣【地域連携】

- 脳卒中とがん、心臓病とがんを合併する方への在宅療養支援
- 在宅での心臓リハビリテーション
- 心臓病患者の緩和ケアやACP
- 成人先天性心疾患（ACHD : Adult Congenital Heart Disease）
- 脳卒中病院前救護 等々

市民公開講座のご紹介

LIVE
対面視聴

脳卒中・心臓病等総合支援センター事業
第35回 埼玉医科大学国際医療センター
市民公開講座

「知れば安心！救急・脳卒中」—いざという時の対応と備え—

日時：2025年8月23日(土)
13:00～15:30 (開場12:00、閉場16:00)
場所：埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホール
(日高キャンパス) 埼玉県日高市山根 1397-1
YouTubeによるLIVE配信をご希望の方は裏面の申込フォームより予約してください。

開会 13:00
開会の挨拶 副院長 鈴木 孝明

座長 救命救急センター長 加地 正人

講演 13:05～15:30

(1)知れば安心！熱中症 救命救急科 教授 井上 孝隆

(2)知れば安心！救命の連鎖 救命救急科 助教 宮田 秀平

休憩(15分)

(3)知れば安心！脳梗塞 脳血管内治療科 教授 神山 信也

(4)知れば安心！脳出血、くも膜下出血 脳卒中外科 講師 寺西 亮雄

閉会 15:30
閉会の挨拶 救命救急センター長 加地 正人

8月23日(土)【YouTube LIVE配信あり】

「知れば安心！救急・脳卒中」

—いざという時の対応と備え—参加者535名

4名の医師による講演

熱中症、心肺停止

脳梗塞、脳出血・くも膜下出血

3月21日(土)【YouTube LIVE配信あり】

「ここでしか聞けない！脳卒中・心臓病の
最先端治療をやさしく解説」

5月31日(土) がん・泌尿器

1月31日(土) 膵がん（ウェスタ川越にて）

連絡先：TEL 042-978-7137 (市民公開講座事務局)

県民向け公開講座のご紹介

県民向け公開講座

令和7年度埼玉県循環器病対策事業



参加無料

～冬場の心臓病・脳卒中に要注意！～
**いま知っておきたい
予防の知識**

令和7年
12月7日 (日)
13:00～15:30

越谷市中央市民会館
(1階 劇場)
越谷市越ヶ谷四丁目1番1号
※公共交通機関でお越しください

対象
埼玉県民、県内在住の
どなたでも **先着300名**

講演

- ① 元気に長生きするために
～心筋梗塞・心不全・脳梗塞は予防できます！～
田口 功 先生
(獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科 主任教授)
- ② 心疾患の生活指導について
二階堂 由梨 氏
(獨協医科大学埼玉医療センター 心不全療養指導士)
- ③ 脳卒中に「ならない」「負けない」ための基本の“き”
赤岩 靖久 先生
(獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 准教授)
- ④ 脳卒中になってしまったら～地域連携の重要性～
丸木 親 先生
(越谷市立病院 名誉院長)

スマートフォンの場合
PCの場合

<https://forms.gle/URqRjcn4SXafigA26>

問合せ：埼玉県疾病対策課 ☎048-830-3598 (平日8:30～17:15)
埼玉県立国際医療センター公開講座事務局 ☎042-978-7137 (平日8:30～17:15)

共催：埼玉県／越谷市／埼玉医科大学国際医療センター
後援：一般社団法人埼玉県医師会／一般社団法人越谷市医師会
公益社団法人日本脳卒中協会埼玉支部／一般社団法人日本循環器協会埼玉支部

埼玉県 循環器病 公開講座

検索

- 開催日時：2025年12月7日(日) 13時より
- 会場：越谷市中央市民会館
- テーマ：「冬場の心筋梗塞・脳卒中に要注意
いま知っておきたい予防の知識」
- 講師：獨協医科大学埼玉医療センター
越谷市立病院
- 進行他：埼玉医科大学国際医療センター

連絡先：TEL 042-984-4128 (総合支援センター事務局)

地域医療連携懇話会（地域の医師・看護師・医療職・介護職他向け）

開催方法：ZOOMによるWEB配信

開催実績と予定

- ① 5月12日(月) 19時 心不全の薬物治療・緩和ケア
- ② 9月24日(水) 19時 がんのロボット手術
- ③ 12月15日(月) 19時 **脳卒中と心臓病**
- ④ 3月16日(月) 19時 がん 脳脊髄腫瘍（仮）

連絡先：TEL 042-984-4433（地域医療連携室）

かわせみカンファレンス（地域の看護師・医療職・介護職他向け）

埼玉医科大学国際医療センター
2025年度 第3回かわせみ教育カンファレンス

あなたは大切な人と
人生会議（ACP）
していますか？
～各領域の実践者と共に考えよう～

2025年11月14日(金) 18:00～19:30

会場 埼玉医科大学国際医療センター
教育研究棟2階大講堂 & Web開催（ハイブリッド形式）

講師

- 「小児領域におけるACPについて」
埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科
助教 佐野 海斗 先生
- 「心臓領域におけるACPについて
～大学病院から在宅療養へ橋渡しした症例～」
埼玉医科大学国際医療センター 心臓病センター
看護師 小谷野 京悟 先生
- 「がん領域におけるACPについて
～大学病院から在宅へ移行した症例～」
あさひヶ丘訪問看護ステーション所長
訪問看護認定看護師 飯島 若子 先生

申込 【URL】 <https://ssl.formman.com/t/uWIS/>
<締め切り> 11月13日(木) 9時まで

【問い合わせ先】 埼玉医科大学国際医療センター 教育支援センター
e-mail : kyoikuc@saitama-med.ac.jp



- 開催方法：現地と ZOOM による Web 開催の併用
- 開催日時：第1回 2025年 6月13日(金) 18:00～19:30
第2回 2025年 9月12日(金) 18:00～19:30
第3回 2025年 11月14日(金) 18:00～19:30
第4回 2026年 2月13日(金) 18:00～19:30

「かわせみ教育カンファ」
申込 QRコード



3. 教育プログラム

	日時	講演テーマ
第1回	2025年 6月13日	在宅療養中の高齢者を対象とした褥瘡予防につながる 栄養管理と排便管理
第2回	2025年 9月12日	特定行為のあれこれ！ ～看護のチカラで患者の未来を変える～
第3回	2025年 11月14日	あなたは大切な人と人生会議 (アドバンス・ケア・プランニング) していますか？ ～各領域の実践者と共に考えよう～
第4回	2026年 2月13日	新人教育に関する講演（予定）

脳卒中病院前救護セミナー（PSLS）（地域の救急隊・医療職・介護職他向け） (Prehospital Stroke Life Support)

日本臨床救急医学会認定 第28回
PSLSコース

◎ PSLSって？
Prehospital Stroke Life Support = 脳卒中病院前救護を省略してPSLSとなっています。
脳卒中が疑われる傷病者に対する、病院前救護の現場での標準的な観察・処置の手法を行うべく開発された研修コースとなります。

PSLSコースを受講していた場合

国際さん こんにちは～！
調子はいかがですか？

10秒間両腕を挙げて

イーってして歯を見せて

左麻痺と構音障害…
脳卒中かもしれない！
119だ！

これは何？

腕あがらん

えがね（めがね）

救急車で病院へ！

腕が挙がるようになった！

発症後に来たから治療ができた！
気づいてくれてありがとう！

脳卒中だった！

寝たきりになっちゃった…

みなさん申し込んでね

救急隊と一緒に学ぼう！
受講は無料！
お申し込みはQRコードから！



PSLSコースを受講していない場合

こんにちは～…
実はさっきから腕が上がりにくいな

血圧は問題ないから、一旦様子みてみましょう

そうかあ…

1日後…
意識が悪くなり搬送

【日時】2025年9月16日(火) 13:00～16:30
【場所】埼玉医科大学国際医療センター
教育研究棟 5階 タスクトレーニング室

【問い合わせ先】
埼玉医科大学国際医療センター
教育救護科 徳山 (5562)
Mail: e9761@9231.saitama-med.ac.jp
Tel: 042-978-7123

開催方法：国際医療センターでの現地開催 開催実績と予定

- ① 6月17日(月) 13時
- ② 9月16日(火) 13時
- ③ 12月16日(火) 13時
- ④ 3月17日(火) 13時

(定員36名・無料)



連絡先：TEL 042-978-7123（教育支援センター）

神経救急蘇生（ISLS）（医療職向け） （Immediate Stroke Life Support）

PSLSが「病院前のトレーニング」に対し、ISLSは「病院内での脳卒中の初期診療に必要な知識と技能を学ぶための医療研修プログラム」です。

PSLSとISLSの双方を経験することにより、脳卒中の救急医療において、病院前と病院到着後の「一連の診療プロセス」を習得します。

開催方法：

国際医療センターでの現地開催

開催実績と予定：

- ① 8月9日(土) 8時30分
- ② 2月頃の予定
(定員14名・無料)

連絡先：TEL 042-978-7123

(教育支援センター)

比企地域の地域医療連携勉強会（地域の看護師・医療職他向け）

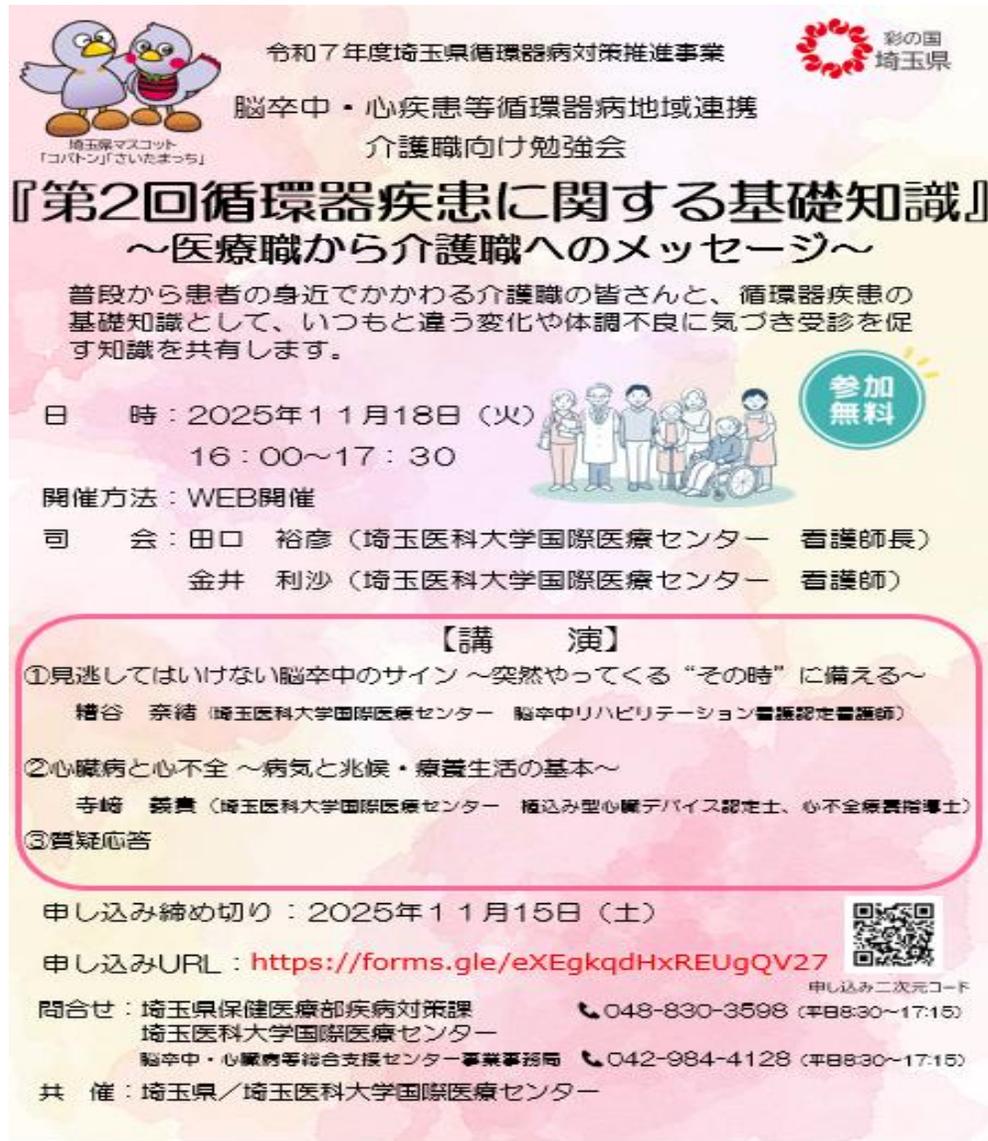
開催方法： ZOOMによるWEB配信

現在、企画中

日程、テーマ等決まり次第、お知らせします

連絡先：TEL 042-984-4128（総合支援センター事務局）

III. 介護施設連携の事業展開 介護職は「変化に気づく専門家」「医療との橋渡し役」



令和7年度埼玉県循環器病対策推進事業
彩の国 埼玉県

埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっちゃん」
脳卒中・心疾患等循環器病地域連携
介護職向け勉強会

『第2回循環器疾患に関する基礎知識』 ～医療職から介護職へのメッセージ～

普段から患者の身近でかかわる介護職の皆さんと、循環器疾患の基礎知識として、いつもと違う変化や体調不良に気づき受診を促す知識を共有します。

日 時：2025年11月18日（火）
16：00～17：30

開催方法：WEB開催

司 会：田口 裕彦（埼玉医科大学国際医療センター 看護師長）
金井 利沙（埼玉医科大学国際医療センター 看護師）

参加無料

【講 演】

- ①見逃してはいけない脳卒中のサイン ～突然やってくる“その時”に備える～
糟谷 奈緒（埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）
- ②心臓病と心不全 ～病気と兆候・療養生活の基本～
寺崎 義貴（埼玉医科大学国際医療センター 植込み型心臓デバイス認定士、心不全療養指導士）
- ③質疑応答

申し込み締め切り：2025年11月15日（土）

申し込みURL：<https://forms.gle/eXEgkqdHxREUgQV27>

問合せ：埼玉県保健医療部疾病対策課 ☎048-830-3598（平日8:30～17:15）
埼玉医科大学国際医療センター
脳卒中・心臓病等総合支援センター事業事務局 ☎042-984-4128（平日8:30～17:15）

共 催：埼玉県／埼玉医科大学国際医療センター

① 介護職向け勉強会の開催【人材育成】

- 開催日時：2025年11月18日（火）16時から
- 循環器疾患について、いつもと違う変化や体調不良に気づき、受診を促せる知識を共有
- 「介護職だけでは判断が難しい」というグレーゾーンを埋める基礎知識を共有する予定

② 埼玉医科大学国際医療センターから、勉強会等への講師の派遣【地域連携】

IV. その他の医療機関連携・介護施設連携の事業展開

- ① 脳卒中地域連携パス（電子化）
- ② 脳卒中両立支援調査2024
- ③ 心不全地域連携パスのコンテンツ作成
- ④ 心臓リハビリテーションの推進

- ◆ 飯能地区薬剤師勉強会
- ◆ 全県薬剤師向け勉強会
- ◆ 大動脈緊急症治療ネットワーク（SAN）勉強会
- ◆ 毛呂山町 健幸ウォーキング

脳卒中地域連携パス（電子化）

- 埼玉県医師会の全面的なご協力の下、8月から運用開始（10月まで43件）
- 対 象 ： 県内のPSCコア、PSC
- 運 営 ： 現在申し込み済みのPSCコア3施設のスムーズな運営
問題点の抽出によるブラッシュアップが必要
- 展 開 ： 県内PSC43施設向けに総合支援センターから利用を促進する
WEB会議を開催する構想あり

両立支援調査2024

調査の位置づけ・各事務局の役割

KEY: 両立支援調査2024は、2024年度下半期に実施される9県参加共同調査です

	両立支援調査 2023	両立支援調査 2024	就労支援リハ調査
対象府県	7府県 岩手・宮城・栃木・富山・京都・福岡・熊本	9県 埼玉・長野・石川・奈良・鳥取・広島・愛媛・佐賀・長崎	11府県 岩手・宮城・栃木・茨城・富山・三重・京都・香川・徳島・福岡・熊本
実施期間（症例エントリー）	2023.10～2024.3	2024.10～2025.3	2024.10～2025.3
実施期間（フォローアップ）	2024.4～2025.9	2025.4～2026.9	—
調査対象者	※1	※2	※3
調査実施担当職種	MSW	MSW	PT・OT・ST
利用システム	HELP-Stroke	HELP-Stroke ver.2	構築中
その他		初回MTG:4/23, 5/1	初回MTG:7/2

▶ 先行する調査2023のスキーム等を活用します

調査概要

どのくらいの患者が対象になるのでしょうか？
(調査負担は・・・)

- ▶ 15-69歳の脳卒中患者
- ▶ 自院から直接自宅に退院した
- ▶ 発症前に就労していた

これらの条件をすべて満たす患者さんが対象です
先行する両立支援調査2023のデータ：
(参画機関7府県176施設平均値)

参加機関平均： **12** 症例 / 機関

- * 急性期平均： 15 症例 / 機関
- * 回復期平均： 10 症例 / 機関

京大病院では、脳卒中患者全体の約1割が調査対象でした



調査内容

調査対象府県のPSCおよび回復期リハビリテーション病院から直接自宅退院した脳卒中患者の復職率および両立支援の実施状況を調査

期待される効果

悉皆性のあるデータに基づいた下記2点の把握

- ①脳卒中後の復職率
- ②「療養・就労両立支援料」の実現
(算定状況や算定困難な理由の把握)

その他の効果

「脳卒中相談窓口連携会議」の実現

【参考】埼玉県の参加医療機関 48施設 (PSC:26、回リハ:22)

心不全地域連携パスのコンテンツ作成

- 対 象 : 重症心不全患者
- 目 標 : 半年以内の再入院を防ぐ
- 方 法 : 各職種で使用する退院サマリーをもとに転院先の
病院、介護施設のニーズ調査を行う

心臓リハビリテーションの推進

- 心臓リハビリテーションについて、地域の現状把握と今後の推進を鑑み、回復期リハビリテーション病院、その他地域病院のリハビリテーション・セラピストと症例検討を中心とした勉強会を開始。

今後の展開を模索中。

教育動画の制作 (R6年度事業)



【YouTubeへ一般公開中】

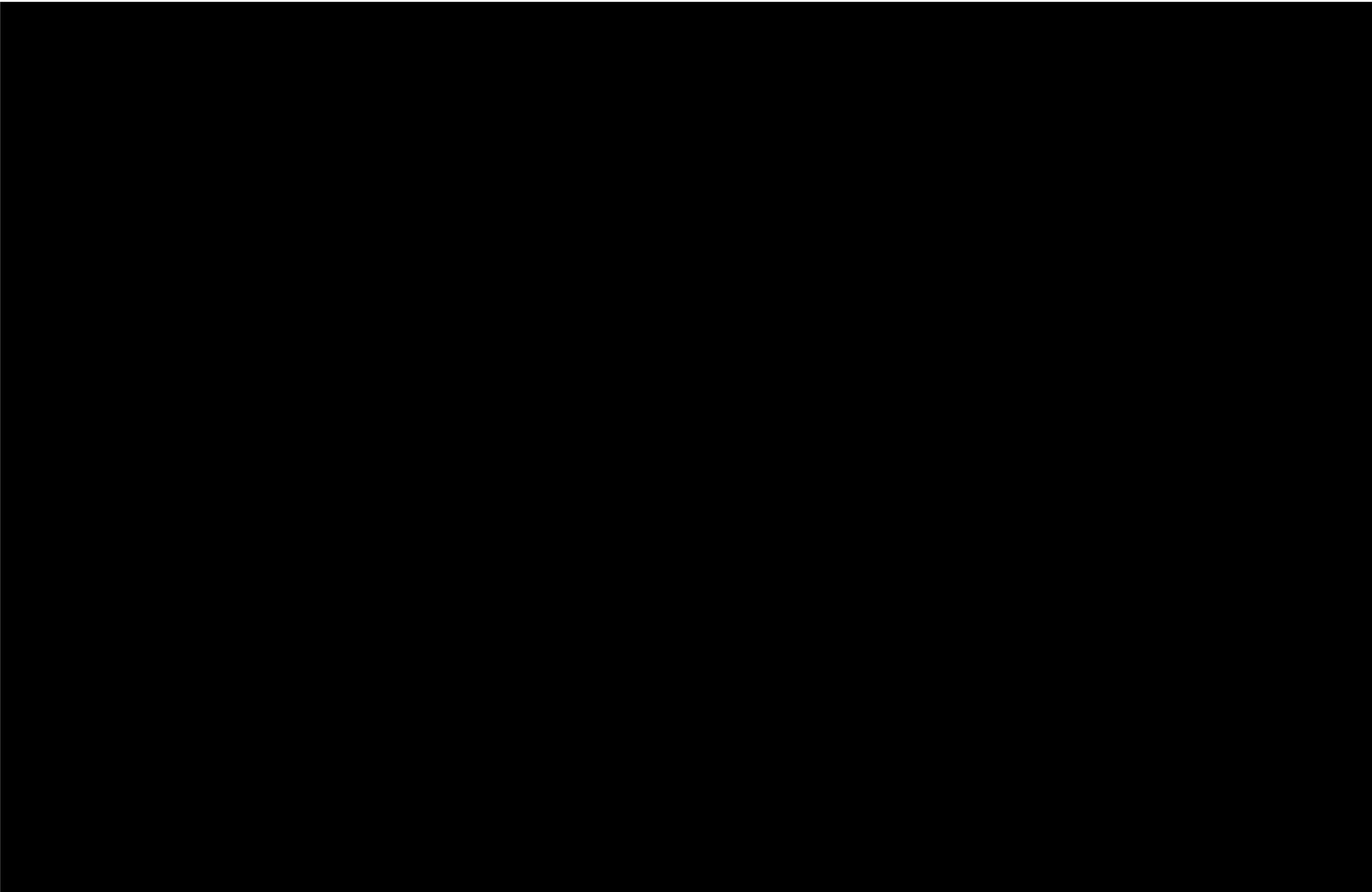
メディカルスタッフ6職種の患者支援における重要な業務を通じて「脳卒中や循環器病」に対する理解を深めていただき、健康意識の向上を図ることを目的に制作しています
 また、それぞれの職種の教育研修の一助となることを願っています

メディカルスタッフ6職種

- ①薬剤師 ②臨床工学技士
- ③管理栄養士 ④看護師
- ⑤リハビリセラピスト
- ⑥救急救命士

2024 年度制作 教育動画 QR コード





問い合わせ先

脳卒中・心臓病等総合支援センター事業事務局
埼玉医科大学国際医療センター
事務部総務課 福島・杉川
電話：042-984-4128 FAX：042-984-0432
E-mail：imc_soso@saitama-med.ac.jp

ご清聴ありがとうございました。

今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。